

※この記事は岩手日報社の許諾を得て
転載しています

地元就職の魅力 若手先輩に学ぶ

盛岡北高で県事業

県は19日、滝沢市牧野林の盛岡北高(片岡順一校長、生徒715人)で県内企業の若手社員らと高校生の交流会「イワテーブル」を開き、地元での就職や仕事の魅力を伝えた。

2年生約240人へソフトウエア開発、建設業、地銀など県内12企業・団体の社員や幹部が説明。自社の事業内容、地元で働く意義や経緯、仕事のやりがいなどを紹介した。



大手企業での勤務を経て地元でUターンした、組み込み機器開発・製造のイーアルアイ(盛岡市)の水野剛営業・マーケティング室長(36)は「まずは自分で

盛岡北高の生徒に地元就職
の魅力を伝える県内企業の
若手社員

目的を定め、何かを変えたり行動したりすることが大切だ」と助言した。

参加した田村美桜さんは「進路選択のヒントをもらい、県内の企業について知るいい機会にもなった」と充実した表情を浮かべた。

同交流会は新卒者の県内就職やUターン促進を図るため、昨年度から高校生向けに開催。本年度は盛岡一、関二、高田、久慈の各校でも開く。